

# 日産財団ニュースレター (第19号)

## 2015年12月発行

公益財団法人日産財団のニュースレター19号は、11月に訪問した2014年度理科教育助成校の活動紹介その2と、11月の選考委員会で採択承認された2015年度理科教育助成校を紹介します。

### 神奈川県 伊勢原市立 桜台小学校



第4学年対象の「ヒトの体のつくりと運動」の単元、1/5校時、めあて「自分の体の中はどうなっているのだろう。さわって、予想して、かいてみよう」の校内授業研究会。骨の数や太さ、形などをワークシートに記入する個人学習をおこなったあとに、気づいたことを自由に発言し班で交流。自分の考えを深めた上で、タブレットを活用し、デジタル教科書の見えない骨の形状、数、太さなどを確認。

### 栃木県 那珂川町立 馬頭小学校



第3学年対象の「電気で明かりをつけよう」の単元で、「はなれたどう線の間に、何をはさむと電気が通るのだろうか」と豆電球回路を計測器として、スプーン(鉄製)、スプーン(プラスチック製)、鉄製クリップ、はさみ、金づち、アルミの空き缶、消しゴム、1円玉、割り箸、ドライバー、くぎなど13種類を電気を通すものと通さないもの、あるいは両方に分類。場所によっては電気を通すものは金属の部分があるなどのまとめで終了。

### 福島県 いわき市立 小名浜第一中学校



第1学年対象の「身のまわりの現象:光の世界」の単元で、上下面がすりガラスの四角いガラスのブロック、半円形レンズ、凸レンズ、鏡ほかに、光源のレーザーポインターを当てて「光によって起こる現象を調べて発表しよう」という授業研究会。助成金で導入したiPadを使って実験結果を映像として記録し、発表に用いるという授業。

### 福島県 白河市立 白河第二中学校



第1学年対象の「いろいろな力の世界」の単元で、教科書にはない発展的内容の授業。2本のばねを直列、並列につないでも「フックの法則」が成り立つかどうかを実験。計測結果をタブレットに記録し、グラフ処理や分析させることで、生徒の思考力を育む。助成金を利用して白河市で初めてのタブレット導入に、他校からもタブレットを活用した授業づくりの成果が期待されている。

## 2015年度理科教育助成 助成校・団体

助成総数:31件 助成金総額:1,860万円 (60万円/件)

### ■神奈川県12件 (総額:720万円)

横浜市立 白幡小学校、	横浜市立 鳥が丘小学校、
横浜市立 井土ヶ谷小学校、	横浜市立 戸塚小学校、
横須賀市立 公郷中学校、	横須賀市立 野比小学校、
厚木市立 戸室小学校、	伊勢原市立 竹園小学校、
平塚市立 南原小学校、	秦野市立 南小学校、
座間市立 東中学校、	相模原市立 上溝南小学校

### ■福岡県7件 (総額:420万円)

遠賀町立 島門小学校、	糸島市立 加布里小学校、
大刀洗町立 大刀洗中学校、	
福岡市立 横手中中学校、	福岡市小学校理科学研究会、
北九州市立 祝町小学校、	北九州市小学校理科教育研究会

### ■栃木県4件 (総額:240万円)

宇都宮大学教育学部附属小学校、	鹿沼市立 上南摩小学校
栃木県小学校教育研究会宇都宮支部理科部会、	
栃木県小学校教育研究会足利支部理科部会	

### ■福島県8件 (総額:480万円)

南相馬市立 太田小学校、	相馬市立 向陽中学校、
浪江町立 浪江中学校、	いわき市立 湯本第一小学校、
いわき理科教育研究会、	いわき市立 藤間中学校、
いわき市立 好間第二小学校、	いわき市立 湯本第一中学校